

「サポーターズミーティング」議事録

日 時:2022年6月17日(金)19:00~21:00
場 所:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
主 催:ベガルタ仙台・市民後援会
出席者:中心部を含むサポーター約50名
司 会:市民後援会 理事長兼事務局長 三船、事務局次長 遠藤

意見交換<○:質問者、●:中心部、■:司会>

(注)当日の意見交換において、個人を特定できるなど議事録の公開が不適切と思われる内容については、削除または趣旨が変わらない範囲内で表現を一部修正しています。

■:今回初めてサポーター同士の意見交換会である「サポーターズミーティング」を開催することになった。これからJ1復帰に向けた大事な試合が続くが、仙台の応援をリードする中心部の皆さんから市民後援会に対して「応援に関してサポーター同士で意見交換する場を設けてほしい」との申し出があり、市民後援会としても、仙台の応援スタイルはサポーター自らが築き上げていくものであり、サポーター同士が相互に理解を示しながら進めるのが理想と考えていたので、開催を決めたもの。限られた時間ではあるが、有意義なミーティングにしたいので皆さんのご協力をお願いしたい。それでは最初に、中心部の方からご挨拶をいただく。

●:リーグ戦は折り返しとなり、これから大事な試合が続く。横浜FC戦・山形戦の前にサポーター同士で意見交換を行う場を設けたいと思っていたが、新型コロナウイルス感染拡大など諸事情でできずきた。今回、市民後援会主催によりこのような場を設けていただき感謝している。今日は2時間で足りないところもあると思うが、今後継続実施したいと考えている。率直な意見や提言をよろしく願いたい。

■:今回は議題を2つ用意した。1つ目は現在の応援スタイルについて。いろいろ確認したいこととか、意見提言でも構わない。2つ目は今後の応援について。これから大事な試合が続くので、今後の応援に向けて皆さんで意見交換したい。その他にも何かあれば最後にお話いただく時間を設ける。

○:大宮戦(5/21 NACK)で応援の中心部の場所を左上に作った意図を教えて欲しい。

●:現在、基本的に中心部は外側(端)に寄せるようにしている。以前より仙台サポーターの数が減っている中で、アウェイスタンドの中で座って見たい人、立っちはいるけどゆっくり見たい人、がっちり応援したい人という、それぞれのエリアを作るために、あえて奥に中心部を取ったり、手前の端に取ったりしている。残りのエリアはみんなでききに使うてくれて構わないという作り方をしている。

■:アウェイ戦の時、中心部がどこに陣取るかというのはあらかじめわかっていると良いということ。確認だが、中心部をどこに陣取るかということをごどのようにして皆さんに伝えているのか。

●:基本は脚立と太鼓を置く位置が中心部になる。味スタ(5/4 東京V戦)の時は特別で、当日の朝に急きょ2階席に変えた。そのまま陣取ってはまずいと思い、「2階に陣取る」という話を待機列で先頭から最後尾まで伝言ゲーム式に伝えてもらった。

○:遠方にいると今の応援に関する情報は、自分からYouTubeなどの動画サイトや試合映像を探し、どういう応援なのかを確認しないとイケない。「今、応援がこういうふうになっていますよ」という動画を中心部の皆さんがアップロードし、応援がちょっと変わった時にもアップしてもらえると、アウェイでの応援が中心のサポーターとしてはありがたい。考えてもらいたい。

●:中心部ではあまりSNSをやっていないが、そういう動画があった方がいいのだろうとは思う。

○:Kissの(チャントの)太鼓のリズムが去年や今年の頭あたりに変わっていると思う。ゴール裏にいるが、変わったのをわからず前のリズムのまま手で叩いている人が結構いる。その結果バラバラになるのは少し格好悪いと思っていた。コロナ前の声出ししている時にやったように、新チャントができた時などはできればゴール裏の方でもレクチャーに回ってきて欲しい。そうするとゴール裏でも共有されて、格好いい応援ができると思うので願いたい。

■:今日の意見交換のテーマにゴール裏とバックスタンドの連携を入れようと考えていた。現在は太鼓もバックスタンド側に移っている。その経緯や、中心部ではどう考えて今の形態にしているか、ゴール裏との連携を今後どうするのか、などの意見交換をしたい。

●:ゴール裏に太鼓やPA(スピーカー等)を置かなくなった理由について話す。ユアスタが満員の19,000人入る時代から観客数が減るにつれ、サポーター自由席バックで空き席が出てきた。また、ゴール裏のサポーター自由席でも空き席が目立つようになり、通路下の人たちしか立っていない状況が続いていた。仙台のストロングであるバックスタンドでの応援をまずしっかりすることが必要と考えた。ゴール裏でも連動して応援しているが、発信源はバックスタンドである。バックスタンドに集中することで再び強い応援を取り戻そうと考えた。コロナ以前のような観客数になるまではしばらくかかるとみて、バックスタンドの1ヶ所にまとめ、応援ゾーンを確立したいと考えた。ゴール裏はゴール裏で良さがあると思う。初めてユアスタに行く人はチケット価格が安いのでゴール裏を買うと思う。その時に太鼓があると次もゴール裏を買ってしまいそこで固定してしまうのではないかと。そうやって欲しくない。これから応援していく人はどんどんバックスタンドで応援して欲しい。特段の理由がなければ、みんなでバックスタンドを埋めましょーと言いたい。バックスタンドはサポーターエリアで戦うところ、ゴール裏は応援するところ、指定席は試合を観戦するところみたいな、ざっくりしたイメージでいうとそうなる。

■:まずはバックスタンドで応援を固めて、いずれはそこから強い応援が広がっていくと良いと思う。

○:応援の中心部は、勝手に応援して勝手にやっている人たちというのが私のイメージ。しかし、もし中心部をまとめる人もしくは責任を持つ人という立場でいるのであれば、今まではやんちゃですませられた部分はこのコロナ禍という状況の中で難しくなっており、しっかりしないとSNSなどで意味なく叩かれ、それによるマイナスのイメージを持たれることはすごく損していると思う。私は中心部の人たちが一生懸命やっているのをわかっているが、わからない人たちはいる。申し訳ないが中心部も変わってもらわないといけな部分が出てくると思う。これから後半戦の応援を盛り上げて引っ張っていこうと思う時に、それがマイナスに働いて欲しくない。後半戦に向かってそういう部分をきちんと欲したい。

○:先ほど中心部の位置の話があった。関東サポだと緩い人もいて中心部を避けたい人たちもいる。棲み分けをあらかじめ知らせて欲しいということはあると思う。また、脚立が置かれた場所が中心部だということをつわらない人たちはいるし、情報発信は棲み分けをする意味でもして欲しい。

●:応援場所についてはお願いして前コールリーダーのTwitterで流している。中心部が無駄なところで損をしていることはわかるが、現場レベルとネットレベルでは差がある。ネットには本当の話はない。ただ俺らからそれを否定する必要もないと考えている。

■:中心部が熱量を持って応援をリードしてくれることで仙台の応援があるのは間違いない。皆さんもそこはわかっていると思う。一方で、注目される立場でもあるので、中心部の皆さんが自覚を持ち、自分たちが仙台を代表していることを頭に置いて欲しい。今日のこの場は何かを決めるとか何かを変えることを決める場ではなく、中心部が皆さんの意見や普段思っていることを聞いてみたいということで場を設定した。今のようなご意見はありがたいし、そのような意見があるということを中心部でもわかって欲しい。

○:中心部の人たちがバックスタンドでの応援スタイルについてメッセージをどのように発信していくのか。これから声出し応援が可能になるので、いろいろ考えていただいた方がいいと思う。ゴール裏との意思疎通は必要だが、一方でコロナ禍での応援スタイルとして複数の応援スタイルがあってもいいのかなとも思う。一体感を持って応援できているのは中心部の方たちがいるお陰でもある。いろいろ考えて欲しい。

■:先ほどのバックスタンドとゴール裏の話ではバックスタンドに応援を集中させているということだった。おそらく応援エリアがバックスタンドに居続けるのではなく、バックスタンドに応援を再構築した上で、ゆくゆくは昔のようにゴール裏までずっと応援が広がってくっていくのが理想であり、そこを見据えているということとあってよいか。

●:極論かもしれないが、理想的には360度サポ自だ。今はキャパシティや棲み分けなどを考えても、バックスタンドで収まる規模なのでバックスタンドに集まって応援しようということ。応援スタイルが複数あってもいいのではないかと意見があった。若い人が数人でも集まってサポーターグループを作ってもいいと思っている。皆さんが知っているHeaven以外にもラジカルズというグループがあり、2つのグループが一緒に活動している。他にもグループがあつていいと思う。試合後にはミーティングをしているので、ミーティングに参加して意見を言ってもらっても構わない。もしそういうことをやりたいと思う人がいたらチャレンジして欲しい。

●:ここにいる人たちはサポ自にいる人たちだけではないと思う。指定席にいる人もサポーターだし、いろいろな人がスタジアムにはいるので棲み分けは大事だと思う。90分立ち続けて応援できない人が中心部にいても困るだろうし、逆に俺らがメイン指定席で大騒ぎするのも困るだろうし、棲み分けは必要だと考えている。

○:仙台を離れ久しぶりにユアスタの自由席南で試合を観た時、反対側のサポ自バックがものすごく応援が熱く、特にリャンダンスは自由席南から見ていてその中に入りたかった。サポ自バックは、ベガルタのユニフォームを着て応援していて、自分はユニフォームがない。ユニフォームがないと、そこに行けない。行けない訳ではないが、すごく行きにくかった。

これは運営に対する提案だが、ユニフォームではなくてもいいので、余っているユニフォームを貸し出したら、中心部の応援に1人でも2人でも加われるのかなと思う。クリーニング代を取ってもいい。仙台の熱狂的な応援を体感すればやがて中心部に加わり、より良い強い集団になれるのではないかなと思う。勝手な提案で難しい部分もあると思うが、応援したことのない人からは敷居が高く感じる部分もあるので少しずつその敷居を下げたいと思う。

■:サポーター初心者向けのサービスのアイデアとして、例えばベガルタカラーのシャツなどの貸し出しなど比較的安い値段でできることをしてはどうかという提案だと思う。クラブと後援会との定例会があるので、その場でクラブに伝えたい。

関連して、スポンサーをつけてユニフォームを配布するとか、明日の試合ではタオルマフラーを配布するとか、山形戦ではフラッグを配布するとか、クラブではスポンサーをつけてスタジアムをベガルタカラーにする努力をしていることを申し添えておく。

○:中心部の人たちはそろいの黒いTシャツを着ているイメージがあり、試合中でも黒いTシャツを着ているイメージがある。その思いや考えを聞かせて欲しい。

●:黒でも白でもピンクでも別にどんな色でもベガルタを応援しているのがわかればそれでいいと思う。対戦チームのメインカラーはNGだが。

私服で最前列にいて、一番目立って応援し強く選手に伝わった人がいれば、その人がその日一番熱かったサポーターだと考える。服装には皆さんが思っているよりこだわりがない。勝てなかったらやめるとか、それぐらいのノリでやっている。

○:気にしてないのであれば黄色を着てもらっていいと思う。

■:スタンドをベガルタカラーにしようとして全体でやっているのだから、それも踏まえて欲しい。いろいろな思いを持って行動していると思うので、バランスをうまく取ってやって欲しいと思っている。

●:中心部の人たちは、若い人も含めて明日はユニフォームを着てくる予定。

昔から中心部の若い人たちには、ユニフォームを買うお金があるのならアウェイへ行こうと、ユニフォームを買うお金があるのなら現場に来て一生懸命応援して欲しいと話している。極端な話だとは思いますが、若い人は使えるお金に限られるので、そういう代々の教えもある。

■:中心部の皆さんは幕を運んだりするお金を全額自分たちで出し合っている。クラブから貰っているのではない。シーズン始めに皆さんでカンパし合うのを見ている。それだけの熱量を持ってやっているところも踏まえて、仙台の代表だという自覚も持って欲しい。

○:中心部の一部の皆さんが黒い服を着ているのは、自分達が応援をリードしているという主張なのか、黒シャツからベガルタゴールドのシャツに変える気はないのかと思っている。

また、中心部の一部の皆さんが何か問題を起こした時、私の職場の他クラブのサポーターから、サポーターの代表なのだからきちんと行動をわかまえるように、私が言われる。

昨年だが、試合が終わるとサポ自の人はサポ自のゲートから出てください、バックスタンドの方はバックスタンドから出てください、と場内アナウンスしている時に、弾幕を撤収するのかどうか分からないが、中心部の一部の若い人がスタンド内にある柵を乗り越えていこうとしていた。そのような行動は初めて来た人にもあれは何だと言われてしまうので、仙台のサポーターの代表なのだから、きちんとわかまえた行動をして欲しい。

●:黒い服を着て応援の中心だ、みたいな感覚なのではという意見だが、そういう感覚ではやっていない。俺らはこういうことやるから皆さんにお願いしますという感覚より、どちらかといったら同じ目線で一緒にやろうというというスタンスを取っている。スタジアムで話す時も、中心部だとかコアサポだという意識ではなく、みんな同じサポーターと思っている。

サポーターの中でうまく棲み分けして、自分の適している場所で応援していけば、いずれいいスタジアムにできる

のではないかと思っている。

■:それでは、次に「今後の応援」について意見交換を行いたい。

○:去年残留が掛かるかという試合で、ビクトリーズジャストオールシャツを買わせていただいた。もし、材料費などが必要だったら、遠慮なく言ってもらいたいし、買いに行きたい。必ずしも皆さんと100%同じ行動ができないので、微々たる協力でもしたいと思っている。徳島戦でも言っていた最高のホームを作り上げるというのは同じ気持ちだ。

多分ここにいる大多数の方もそうだと思うが、自分も含めて1日でも早く声を出して応援したい。サポーターグループやクラブからJリーグに提言しているのかなど声出しに関しての状況を教えていただきたい。

●:先日の鹿島や東京Vの試合での調査結果などの要素があり、今後どうなるのか正直わからない状態だ。仙台はステップ3からだと思うが、その時に規制が緩くなった上で声出しをやれるのか、それとも今より段階が低くなった状態で声出しできるのかわからない。クラブとして声出しによる入場料の計算をしながら判断すると思う。

■:Jリーグのホームページでは声出し応援に関するガイドラインが載っていて、ステップ1からステップ3の3段階あり、ステップ2までは実施するクラブが決まっている。仙台がやるとすればステップ3で8月以降。話があったように声出しエリアも50%収容で、声出しエリアでない場所も50%収容となる。それがステップ1とステップ2をやっている間に緩和されれば、クラブの方も考えるだろう。一方で、現在はスタジアムの半分もお客さんが入っていないのではないかとこの意見もあるかもしれない。今後佳境に入ってくれば、いろいろな集客策をやっていくことになるので、クラブはバランスよく判断していくとみている。

○:明日の横浜FC戦では中心部では何か応援企画を考えているのか。

●:スタジアム全周18,000席を対象として、朝10時に集合した後チアペーパーを設置する。まず席に輪ゴムを設置し、そこにチアペーパーを入れる。全部の座席を黄色と青のチアペーパーを使って染め上げる。さらに、去年使ったTOYOタイヤ提供の旗7,000本も導入する。

徳島戦は、横浜FC戦を見据えた上でちょうど折り返しの試合でもあり、「にらめ仙台、共に横浜を向かい打て、俺たちは最高のホームを作り上げる」という白幕を作ってタンカを切った。昨日午後はみんなで紫山の練習場に行って弾幕をつけて、今日また撤収作業までやってきた。徳島戦で作った白幕もクラブスタッフに頼んで今日室内アップ場に貼ってきた。準備は着々と進んでいる。

スタジアム18,000席分のチアペーパー設置となると、かなりのマンパワーが必要なので、もし来られる方がいればお願いしたい。明日はホーム感満載で行きたい。ここでスタートダッシュを決めて、もう1回流れに乗りたいため、明日は朝10時に来られる方はお願いしたい。

○:今後新しい応援を作る予定はあるか。岡山戦(5/25 ユアスタ)だと思うが、最初にやったテンポの応援があった。

●:新しい応援は作り終えている。質問の岡山戦の応援はこれかなと思う応援があるが、まだ使い方が決まっていないし定着もしていない。隙間に挟み込む感じで使う。歌詞はついておらず、コロナ禍限定みたいな感じになるかなと考えている。

○:Kissの(チャントの)テンポは今どんな感じでやっているか。歌っていた時と違うのでは。

●:テンポは変わってないかもしれないが、ただ歌っている時と変わったのは、もともと手拍子の部分で太鼓を1回叩いていたのが、今はその部分を手拍子が合いやすいように太鼓を2回叩いている。歌っていた時のリズムに戻そうとやり始めている。

●:山形戦ではクラブが12,000本の旗を配る予定と聞いている。TOYOの旗みたいなもので、試合後寄付してもらえる人には置いていってもらって、次から使いたいと思う。必要ない人はいないと思うが、応援で協力する考えのある人はその旗と我々が作ったステッカーとを交換したい。今のTOYOの旗は7,000本あるので7,000本集めれば14,000本になる。それだけあれば旗である程度スタンドを埋めることはできる。

当日各ゲートに人の配置が必要だが、集める本数が多いこともあり、我々だけでは限界がある。近いうちに協力をお願いを出すので、その時は皆さんに協力をお願いする。

■:他に何かあるか。

●:バックスタンドで応援している人だけの話だが、旗で試合が見えないという意見があるが、影響を受けていると

いう人はいるか。

○:旗は基本的に前々からプレーが途切れた時に限って振ってきたと思っていた。

●:そういう事実はないと思う。

○:初期の頃から旗で見えないという話は出ていて、過去旗を振るのはプレーが途切れた時という暗黙の了解があったと記憶している。その後若い人たちがバックスタンドに入るようになり(世代交代も進み)、中にはプレー中でも旗を振る人がいる。例えばゴールの瞬間が見られなかったりするとつらい。

○:今はサポ自バックも指定席なので結局動けない。それで、旗を振られると見えないという苦情が出てくる。コロナ前は自由席なので見やすい場所へ移動できた。

●:指定席であれば席を動けないので当然出てくる話だが、自由席の旗で試合が見えないとか、ゲーフラで見えないとか、立っているサポーターが邪魔で見えないという話は、棲み分けで対応できる話だと思う。応援の中心場所は頻繁に移動できないのはわかってくれていると思う。

この話はサポーターエリアを今後どういうエリアにしていくか、今後サポーターエリアをどう確立していくかという時に肝になる話だと考えている。

例えば、試合を見たい、応援の雰囲気も楽しみたい、という人は、俺個人の考えではあの場所にそぐわないと思っている。あくまであそこは選手とともに戦う場所である。他にも同じ角度で見られる席はあると思う。

そういう意見が多くなると、今後、仙台の応援の幅が縮められてしまう。他のチームを見ていると、その現象は目に見えるなど感じている。

■:旗やゲーフラは議論が必要だと思っている。サポーターだけで勝手に決められるものではないが、今日は皆さんがどう思っているのか、できれば賛否両方の意見を聞いておきたい。

○:サポーター応援エリアは旗を振ることがあることを、周知してもらえない。

■:クラブから周知されている部分はあるが、今日のようなサポーターズミーティングの場で話題に取り上げて周知していくやり方もある。

○:旗を振っていない側の意見として、旗を振るのは大変なことはわかるが振っている人は試合が見えているのではないかと思っている。実際は旗を回したりすると試合は見えないし、旗は重くて振るのも大変だ。旗を振っていない側はそのような見方をしているので、その温度差もあるかなと思う。

●:選手たちから見える応援がすごい応援であり、それがマックスの答えだと思っている。先ほど話があったプレー中に旗を降ろすのはそれとは真逆のことになると思う。

見える・見えないの話が出てくるのは当然のことだが、クラブに決めてもらわないでも、あそこをどういうエリアにしていくかについて皆さんと共通認識を持っていかないとイケないと思う。集団に新しい人が加わり、新しく加わった人からクレームを言われたので集団のルールが厳しくなりました、ということが世の中にはある。Jリーグでもそういう風潮を感じているし、仙台もそうになっていく可能性は十分にあると思っている。旗の話から始まり、続いて例えば夏場の水撒きもダメになるとか、次々といろんなことに波及していくのではないかと心配している。もし理解してくれる人たちがいるのであれば、現状より応援のレベルは下げたくないのが本音だ。

●:極論を言うと、太鼓を叩いていて耳が痛いですと言われると太鼓も叩けなくなる。ないとは思いますが。棲み分けでやっていかないとダメかなと思っている。

我々はホームの雰囲気を出して、選手にあと一歩でも、もう一足でも、動いてもらう・頑張ってもらえるようなスタジアムでの応援を目指したいと思う。そのために(今は声を出せないが)一生懸命声を出したり、旗を振って大きな動きを作ったり、跳ねたりしている。選手が疲れている時に動きがあるスタンドを見ればさらに動けるのではないかなど、結局は自己満足かもしれないが、そういう思いの人がバックスタンドに集まってもらえればいいかなと思う。

○:自分は社会人野球でプレーするので、応援されることがどれだけありがたいかを一番わかっているつもりだ。病気から治ってプレーする時に、全国いろいろなところから応援の言葉をもらいすごく力になったことを経験している。選手は応援してくれるだけですごくありがたいと思う。

サポーター自由席での旗で試合が見えない問題だが、年に数回しか応援できない人にとっては応援している選手を見たいという気持ちなので、先ほど言われたように周知していく必要があると思う。

応援の中心の方に対する提案だが、自分たちの応援がこうだというものや試合観戦に来るお客さん向けの席割りの資料に載せていただきたい。ベガルタのホームページを見て購入しようとする席の雰囲気がわからなかったら

初めて来る人は行きにくいし、メインスタンドで見た後で次は違う席、例えばバックスタンドで手拍子を試してみようかという人がどのあたりの席を買ったらいいのか、応援の中心の方の音が1つ掲示されているだけでも明確になると思う。それはいずれ集客にも繋がり、さらにベガルタ仙台を応援してくれる数は増えると思う。

○: 来月の7/16 アウェイ盛岡戦では、スタジアムのゴール裏は大変狭い。芝生席というが、後ろ半分はコンクリートであり、今まで経験したことがないような観戦環境であり、キャパも含めて心配している。盛岡戦の応援について、工夫や予定などあれば教えて欲しい。

●: まだ決まった話ではない前提で聞いて欲しい。

スタジアムはいわぎんスタジアムで決まっているので、チケットの確保の方法がまず一つ。仙台サポーターだけで満席になると思う。ゴール裏の立ち見の場所は全員収まりそうもなく、中心をどこに置くかという問題がある。しかし、ゴール裏以外はビジター席ではない。

ゴール裏の真ん中は人数が入らないので、バックスタンドに寄る、あるいはメインスタンドに寄るとかを考えている。バックスタンドの芝生部分を仙台のエリアとして開放してもらえないかとか、ベガルタの運営に相談している。

●: 駐車場も台数が十分でなく、ワンコインでもいいから近く施設の借りて利用できないかと話している。

○: 力になれるかどうかわからないが、実はいわぎんスタジアムから歩くと遠いが、会社の本社がそのすぐ近くになり、結構な駐車場のスペースがある結構な台数を止められるスペースがあるので、要望があれば総務に掛け合う。

●: そういう話は大変助かる。盛岡は初めてのスタジアムなので協力してやっていきたい。

●: チケットを買えたとしてもトラブルが心配。普通の試合で数100人しか入っていないのに、いきなりアウェイのサポーターが何千人も行ったら混乱すると思うので、運営には話はしている。

■: そろそろ時間になったが、最後に何かあるか。

●: 1年でJ1に復帰することだけを考えてやらないといけない。明日がちょうど折り返し。俺らも今まではあえて表に出て説明してこなかった。そういうスタンスをとっていたが、話した方がいいこともある。このご時世なので本ミーティングのリモート開催もあると思うが、対面にして欲しいとお願いをして対面してもらった。いずれは100人200人と増やして、みんなでバックスタンドをまず作り上げていけたらというところでやり始めた。9月か10月ぐらいにもう1回ぐらいやれたらいいと考えている。

■: 皆様のご協力により建設的な意見交換になったことに感謝する。今後もこのような場を設定したいので、その際にはまたよろしくお願ひしたい。本日はこれで終了とする。

以上